

第2節 みどり・生物多様性の保全

環境指標の達成状況

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況					最終目標値
				2022年	2024年	2025年	2026年	2027年	
みどりとふれあうイベントの参加者数	人	増加	1,363	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
				5,026					
				○					
みどりのパートナーの登録者数	人	増加	1,517	1,540	1,555	1,570	1,585	1,600	1,600
				1,592					
				○					
新たなみどりの確保量	ha	増加	103.4	基準値以上				110.0	110.0
				106.1					
				○					

【現状及び課題】

◆市民と協働したみどりの保全が進み、目標を達成

2024年度は、市民ホールにおける環境展示会での出展、所沢すみどりのふれあいうォークの開催及び出前講座を実施し、多くの市民に参加いただき、みどりの啓発活動を行いました。今後も関係企業や団体と連携しながら普及啓発活動を実施していきます。

みどりのパートナーについては、新規団体登録があった一方で、高齢化により活動の継続が困難になり登録解除となった団体もありました。市が開催している緑化講座の参加者に対して新規登録の案内を行うなど、登録者数を増やす対策を引き続き検討していきます。

主な施策の実施状況

2-1 生物多様性への理解と参加の推進

2-1-1 多様な主体による教育・学習・体験の充実

○みどりのパートナー活動推進事業

ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例に基づき、みどりの保全及び緑化の推進に関して、自発的かつ実践的な活動を行う個人又は団体をみどりのパートナーとして登録しています。

活動内容に応じて補助金を交付する等の支援を実施することで、みどりのパートナーによる様々な活動を促進しています。

【2024年度実績】累計登録者数（2025年3月31日現在）：1,592人

	緑化の推進活動	みどりの保全活動
団体登録者	35団体（592人）	28団体（983人）
個人登録者	4人	13人

みどりのパートナーによる緑化の推進活動面積：2,364m²

みどりのパートナーによるみどりの保全活動面積：24.34ha



■みどりのパートナーによる地域緑化



■みどりのパートナーによる保全活動

第2節 みどり・生物多様性の保全

○生きものとみどりの普及啓発

本市の豊かなみどりへの理解と意識の向上を図るため、ふるさとのみどりを多くの方に知っていただくとともに、保全活動やまちなか緑化の推進活動を促すきっかけづくりとして、中央公民館、若狭小学校にて出前講座を開催しました。

その他、自然や生きものに気軽に親しむ機会を創出するため、樹林地においてカブトムシなどの昆虫類を繁殖するための落ち葉溜めを5カ所設置し、虫捕りや観察などの場を提供しました。

○みどりのカーテンコンテスト

夏の省エネに有効なみどりのカーテンを作成後、写真を応募していただき、2024年度は13作品の中から投票によって大賞を選出しました。



■みどりのふれあいウォーク

○みどりのふれあいウォーク

みどりとふれあう機会を創出し、1,451名の参加がありました。

○学校教育における環境学習

総合的な学習の時間や理科などで、農業体験の機会の確保、SDGsなどの学習の充実を図りました。

2-2 人と自然との絆の強化

2-2-1 みどりを守り育てる活動の推進

○みどりのパートナー活動推進事業

樹林地の管理に必要な基礎的技術の習得とみどりのパートナー活動を通じて果たされるべき社会的要請や活動の意義について理解を促し、実践してもらうことを目的に、みどりのパートナー育成講座を開催しました。

また、緑化の推進活動に関する基礎知識習得を目的とした緑化講座を開催しました。

[2024年度実績]

育成講座：開催数4回/受講者は8団体、延べ65人

緑化講座：開催数1回/受講者は19団体（32人）

○体験農場推進事業

「農のあるまちづくり」を推進するため、体験農場を市民へ貸し出しすることで、農作業を体験していただき、農業への理解を深めてもらいました。

○所沢農産物ブランド化推進事業

市内の小、中学生とその親を対象に募集を行い、さといもの植え付け・収穫体験とほうれんそうの収穫体験、いちごの摘み取り体験を行いました。

2-2-2 野生生物の保護及び管理の推進

○里山保全地域等指定整備事業

市内に残る貴重な緑地を保全するため、地権者等の協力を得ながら、里山保全地域等の地域制緑地の指定、公有地化等を行うことにより、野生生物の保護やエコロジカルネットワークの形成を図りました。

[2024年度実績]

地域制緑地指定面積：3.10ha（三ヶ島一丁目里山保全地域（2.64ha）、菩提樹池里山保全地域（0.01ha）、

第2節 みどり・生物多様性の保全

北野南二丁目里山保全地域（0.39 ha）、上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域（0.06 ha）

公有地化面積：2.51 ha

○環境にやさしい農業の推進

環境負荷の低減に配慮した農業を推進するため、農業者が行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動のうち対象活動に係る経費の一部を補助しました。

2-2-3 希少な野生生物種の保全

○みどりの基本計画推進事業

生きものの生息状況に応じた適切なみどりの保全を行うため、生きものの調査に努めています。菩提樹池のかいぼり作業時に、地元団体、公益財団法人、企業などと合同で特定外来生物を含む生きものの生息状況について調査しました。



■国指定天然記念物 ミヤコタナゴ

○ミヤコタナゴの保護

絶滅危惧種で国指定天然記念物ミヤコタナゴの人工増殖による種の保存の取組を行うとともに環境学習等の教材として活用しています。

2-2-4 外来種等への対応

○特定外来生物の防除

本市では、特定外来生物に認定されているアライグマやカミツキガメの防除に努めています。これらの生物は生態系、人の命や身体、農業等に影響を与えるおそれがあるため、特にアライグマについては「埼玉県アライグマ防除実施計画」に基づき、2024年度は128頭の防除を行いました。

2-2-5 動物の愛護と適正な管理の強化

○犬の登録・狂犬病予防注射の管理

狂犬病の発生を予防するため、犬の登録と狂犬病予防注射について管理を行っています。また、狂犬病予防注射接種の促進を図るため、集合狂犬病予防注射を実施しています。

[2024年度実績]

- ・2024年度登録頭数：14,933頭（2025年3月末現在）
- ・2024年度狂犬病予防注射頭数：11,486頭（動物病院での接種も含む）
うち、集合狂犬病予防注射頭数：1,632頭（市内39会場で実施）

○飼い方教室等の開催

犬については、飼い主のマナー及びモラルの向上を図るため啓発看板の作成や、狭山保健所管内所沢狂犬病予防協会と連携した「犬の飼い方教室」を開催しています。第1回は17名、第2回は26名の参加がありました。また、啓発看板については、505枚配布しました。

猫については、「所沢市飼い主のいる猫の適正飼養と飼い主のいない猫対策ガイドライン」の周知のため、「飼い主のいない猫対策セミナー」を年1回開催しています。2024年度は33名の参加がありました。

第2節 みどり・生物多様性の保全

○さくらねこ無料不妊手術事業

公益財団法人動物基金の「さくらねこ無料不妊手術事業（行政枠）」に参加し、無料不妊手術チケットを市民ボランティアに配布して不妊去勢をすることにより、野良猫の数を徐々に減らし、野良猫による生活環境への被害を軽減するとともに、動物飼養のマナー向上を図ることを目的としています。さくらねこ無料不妊手術チケットを利用して、2024年度は165件の不妊去勢手術を行いました。

2-3 みどりの保全

2-3-1 貴重なみどりの保全

○所沢市農地サポート事業

高齢化や後継者不足等により農業経営規模の縮小意向を持つ農業従事者から、農業経営規模の拡大意向を持つ農業者や新規就農者へ売買・貸借したい農地を取り次ぎ、農地の流動化を図っています。

○所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画の推進

所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画に基づき、主要な河川である砂川堀・東川・柳瀬川とところざわサクラタウン・中心市街地・狭山丘陵をつなぐ散策路を設定し、みどりの回廊をつくっています。人々が地域のみどり・歴史・文化に触れ、感じることで、新たな人の流れが生み出され、その相乗効果として地域産業の活性化や文化の広域的な交流、所沢ブランド向上等の原動力になることを目的としています。

計画の推進にあたり、水とみどりがつくるネットワークを構築するという共通の将来像のもと、関係各課が連携しながら一体的に取り組むため、調整会議（みどりトコトコ・プロジェクト会議）を開催しました。

この計画で設定した散策路を市民に案内する「所沢市おさんぼナビ」を配布しています。



■所沢市おさんぼナビ

2-3-2 街中のみどりの創出

○みどりの創出事業

街中における生物生息空間の保全・再生・創出を推進するため、公共施設の整備の際には、公共施設緑化ガイドラインに基づく緑化を行うよう指導・周知を行いました。また、開発行為に対する緑化の指導を行い、みどりの保全・緑化に関する基準に基づき、屋上緑化を行う事例が1件ありました。

○公園維持管理事業・街路樹管理事業

公園を気持ちよく利用してもらうため、公園内に光や風が通るよう樹木剪定等を行いました。また、都市景観の形成や防災、環境保全などの機能を持つ街路樹を健全に保つため、定期的に剪定、除草を行いました。

[2024年度実績]

・公園維持管理事業

高・中木剪定数：180本 / 除草・低木剪定面積：366,233㎡

・街路樹管理事業

高・中・低木剪定数：4,925本 / 除草：89,907㎡ / 樹木診断：60本

2-3-3 河川・湿地の保全

○ふるさとの川再生事業

河川・水路の環境を保全するため除草及び清掃を実施しました。また、「ふるさとの川再生事業」および「水

第2節 みどり・生物多様性の保全

辺のサポーター」の登録団体による河川・水路の清掃等の美化活動を実施しました。

[2024年度実績]

実施した水路等の除草面積：50,266m² / 実施した水路等の清掃延長：2,033m

「ふるさとの川再生事業」および「水辺のサポーター」登録団体数：8団体

○河川・水路維持管理事業

ホタルの生息・生育空間を確保するため、選定した水路の環境整備を行いました。2024年6月に、水路でホタルの飛翔を確認しました。